平成２７年度全国学力・学習状況調査の結果の概要（和歌山県）

１　調査の概要

(1)調査日　平成２７年４月２１日（火）

(2)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3)調査内容

①調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第６学年、特別支援学校小学部第６学年

全公立中学校第３学年、特別支援学校中学部第３学年

		国語Ａ	国語Ｂ	算数Ａ・数学Ａ	算数Ｂ・数学Ｂ	理科
(小6)	学校・児童数	242校・8,072人	242校・8,071人	242校・8,072人	242校・8,071人	242校・8,073人
(中3)	学校・生徒数	127校・7,957人	127校・7,965人	127校・7,978人	127校・7,978人	127校・7,986人

②教科に関する調査

・主として「知識」に関する問題を出題…［国語Ａ、算数Ａ・数学Ａ］

・主として「活用」に関する問題を出題…［国語Ｂ、算数Ｂ・数学Ｂ］

・主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題…［理科］

③生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

・学校に対する調査

（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

２　教科に関する調査結果

(1)全国（公立）の平均正答率の状況　　単位：％

	小国Ａ	小国Ｂ	小算Ａ	小算Ｂ	小理	中国Ａ	中国Ｂ	中数Ａ	中数Ｂ	中理
H19	81.7	62.0	82.1	63.6		81.6	72.0	71.9	60.6	
H20	65.4	50.5	72.2	51.6		73.6	60.9	63.1	49.2	
H21	69.9	50.5	78.7	54.8		77.0	74.5	62.7	56.9	
H22	83.2-83.5	77.7-78.0	74.0-74.4	49.1-49.5		75.0-75.2	65.1-65.5	64.4-64.8	43.1-43.5	
H24	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	60.8-61.1	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5	50.9-51.1
H25	62.7	49.4	77.2	58.4		76.4	67.4	63.7	41.5	
H26	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8	
H27	**70.0**	**65.4**	**75.2**	**45.0**	**60.8**	**75.8**	**65.8**	**64.4**	**41.6**	**53.0**

※ H22,H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(2)和歌山県（公立）の平均正答率の状況　　単位：％

	小国Ａ	小国Ｂ	小算Ａ	小算Ｂ	小理	中国Ａ	中国Ｂ	中数Ａ	中数Ｂ	中理
H19	81.1	59.0	82.6	62.9		80.3	67.0	72.8	58.2	
H20	64.3	47.4	72.7	48.9		71.9	57.0	64.3	48.8	
H21	69.8	48.4	79.4	53.0		74.9	70.7	63.1	56.0	
H22	81.8-83.2	75.0-77.0	72.6-74.6	46.9-48.9		71.8-73.0	61.1-62.7	64.0-65.7	41.0-43.2	
H24	79.2-80.7	50.9-52.9	72.0-73.8	55.8-57.7	57.2-58.9	73.9-75.2	61.0-62.5	62.0-63.8	47.4-49.7	48.9-50.8
H25	62.4	47.5	76.4	56.9		74.4	64.3	63.4	40.3	
H26	69.4	53.4	76.8	55.7		77.4	47.5	65.9	56.8	
H27	**69.5**	**64.5**	**75.6**	**44.9**	**59.0**	**73.4**	**62.9**	**64.0**	**39.6**	**50.1**

※ H22,H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(3)和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位:%

	小国Ａ	小国Ｂ	小算Ａ	小算Ｂ	小理	中国Ａ	中国Ｂ	中数Ａ	中数Ｂ	中理
県	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
差	-0.5	-0.9	0.4	-0.1	-1.8	-2.4	-2.9	-0.4	-2.0	-2.9

○小学校は、算数Ａが全国平均を上回り、国語Ａ・Ｂ、算数Ｂが全国平均程度、理科が全国平均を下回った。また、中学校は、数学Ａが全国平均程度となり、国語Ａ・Ｂ、数学Ｂ、理科が全国平均を下回った。

(4)和歌山県（公立）の無解答率平均と全国（公立）の無解答率平均との比較

（小学校）　単位:%

	国語Ａ		国語Ｂ		算数Ａ		算数Ｂ		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H25	10.4	10.7	15.3	13.6	1.5	1.7	6.8	6.3	―	―
H26	2.4	2.3	9.6	9.2	0.9	0.9	5.0	4.3	―	―
H27	**3.0**	**3.6**	**5.9**	**6.1**	**1.5**	**1.8**	**9.4**	**9.1**	**3.3**	**3.2**

（中学校）　単位:%

	国語Ａ		国語Ｂ		数学Ａ		数学Ｂ		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H25	2.8	2.4	3.7	2.8	5.8	5.3	19.1	16.7	―	―
H26	3.9	3.1	5.1	3.5	5.4	4.3	13.7	10.9	―	―
H27	**2.8**	**2.6**	**3.0**	**2.2**	**3.8**	**3.7**	**16.4**	**15.3**	**7.7**	**7.0**

○小学校は、国語Ａ・Ｂ、算数Ａで全国平均より低く、算数Ｂ、理科は全国平均程度となった。中学校は、国語Ａ・Ｂ、数学Ａ、理科が全国平均程度となり、数学Ｂが全国平均より高くなった。

３　質問紙調査の結果

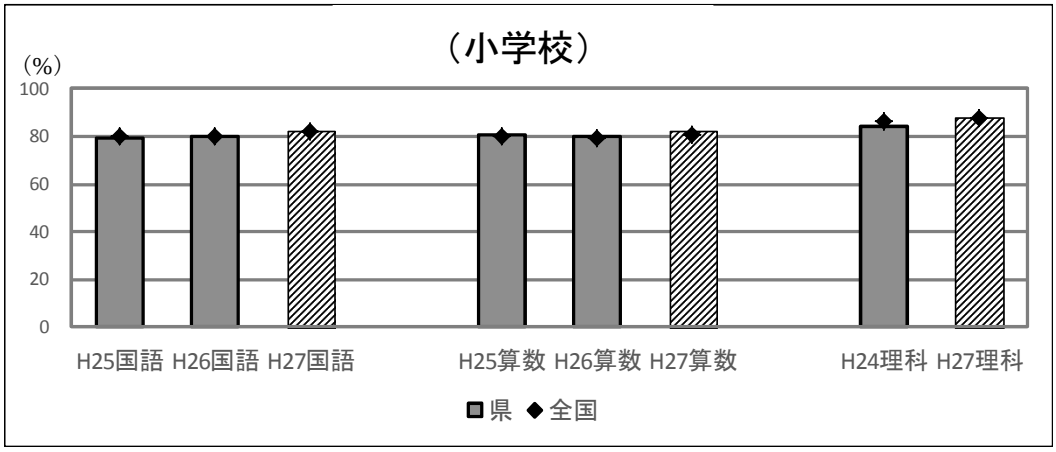
(1)【学習に対する関心・意欲・態度】「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校ではすべての教科で全国平均を上回った。中学校数学・理科では全国平均を上回ったが、中学校国語では全国との差がある。

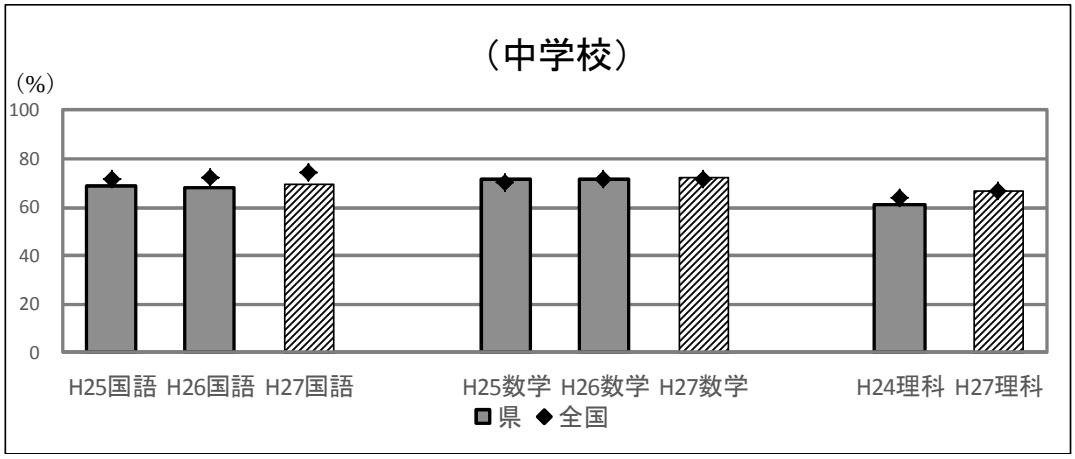
（小学校）　単位:%

児童質問紙	県	全国	差
H25国語	79.6	79.9	-0.3
H26国語	80.3	80.1	0.2
H27国語	**82.8**	**82.0**	**0.8**
H25算数	80.9	80.2	0.7
H26算数	80.2	79.6	0.6
H27算数	**82.7**	**81.0**	**1.7**
H24理科	84.1	86.0	-1.9
H27理科	**88.1**	**87.9**	**0.2**

（中学校）　単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H25国語	68.7	71.9	-3.2
H26国語	67.8	72.0	-4.2
H27国語	**70.2**	**74.3**	**-4.1**
H25数学	71.8	70.5	1.3
H26数学	71.9	71.5	0.4
H27数学	**72.8**	**71.6**	**1.2**
H24理科	61.3	64.1	-2.8
H27理科	**67.0**	**66.8**	**0.2**





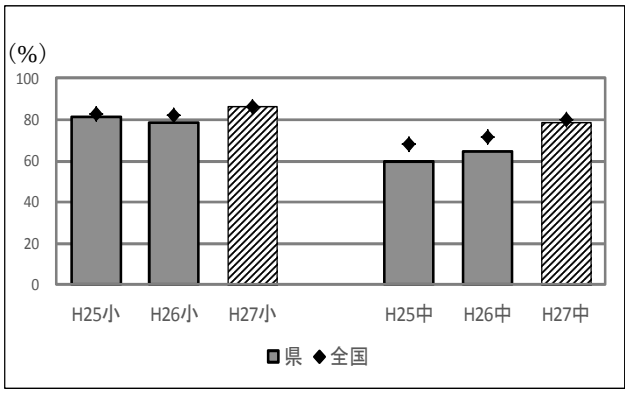
(2)【学校の指導・取組】「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国平均を上回り、中学校では全国平均程度である。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H25	81.1	82.5	-1.4
H26	78.3	82.0	-3.7
H27	**86.6**	**86.3**	**0.3**

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H25	59.5	68.1	-8.6
H26	64.8	71.5	-6.7
H27	**79.1**	**79.7**	**-0.6**



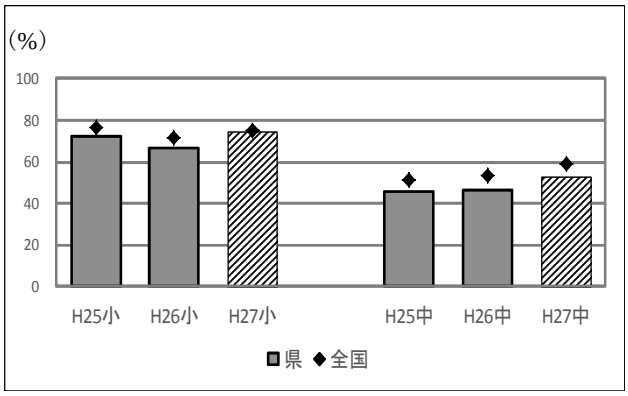
(3)【学校の指導・取組】「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国平均程度であるが、中学校では全国との差がある。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H25	72.3	76.7	-4.4
H26	66.9	71.9	-5.0
H27	**75.1**	**75.3**	**-0.2**

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H25	45.8	51.3	-5.5
H26	46.4	53.3	-6.9
H27	**53.1**	**59.3**	**-6.2**



（国の新規調査項目）

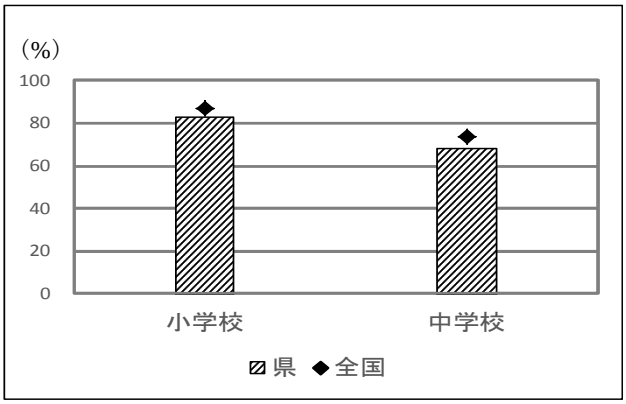
(4)【学校の指導・取組】「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国との差がある。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H27	82.8	87.1	-4.3

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H27	68.4	73.7	-5.3



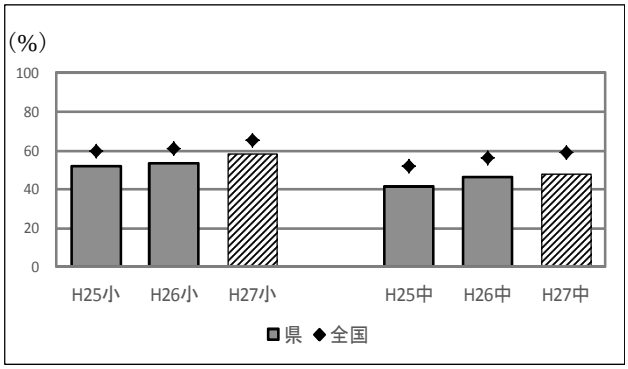
(5)【学校の指導・取組】「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国との差があり、中学校では全国との差が大きい。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H25	51.8	59.4	-7.6
H26	53.6	61.4	-7.8
H27	58.7	65.2	-6.5

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H25	41.4	52.2	-10.8
H26	46.5	56.1	-9.6
H27	48.0	59.2	-11.2



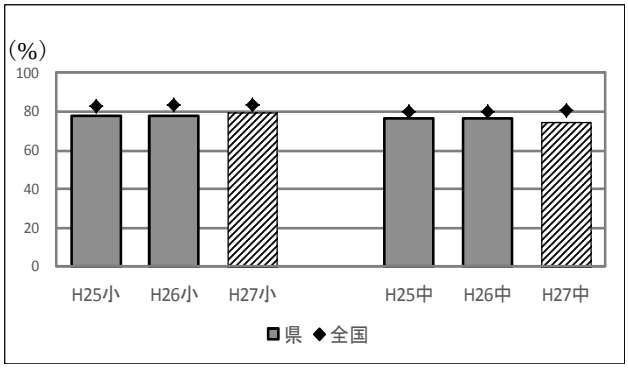
(6)【学校の指導・取組】「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を下回り、中学校では全国との差がある。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H25	77.9	82.5	-4.6
H26	78.0	83.4	-5.4
H27	79.9	83.8	-3.9

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H25	76.3	79.8	-3.5
H26	76.2	80.0	-3.8
H27	74.6	80.6	-6.0



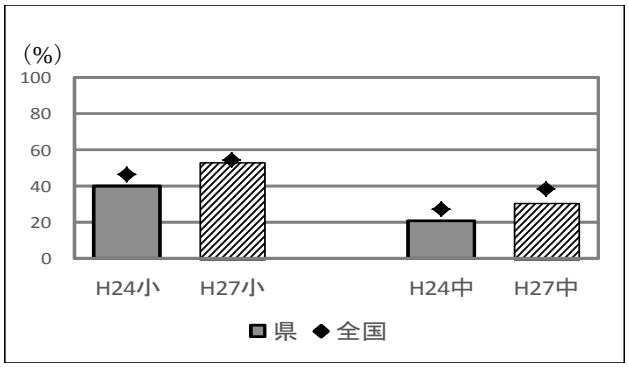
(7)【学校の指導・取組】「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を下回り、中学校では全国との差がある。

(小学校)　単位%

児童質問紙	県	全国	差
H24	40.6	46.7	-6.1
H27	**53.6**	**54.9**	**-1.3**

(中学校)　単位%

生徒質問紙	県	全国	差
H24	21.3	27.4	-6.1
H27	**31.3**	**38.4**	**-7.1**



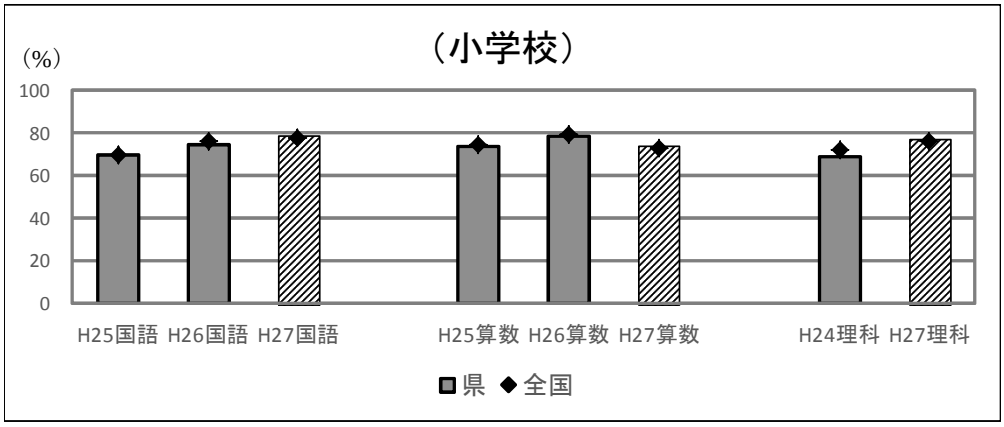
(8)【調査に対する意識】「解答を文章などで書く問題に、どのように解答しましたか」について、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合は、小学校ではすべての教科で全国平均を上回った。中学校では数学、理科で全国平均を上回ったが、国語は全国平均を下回った。

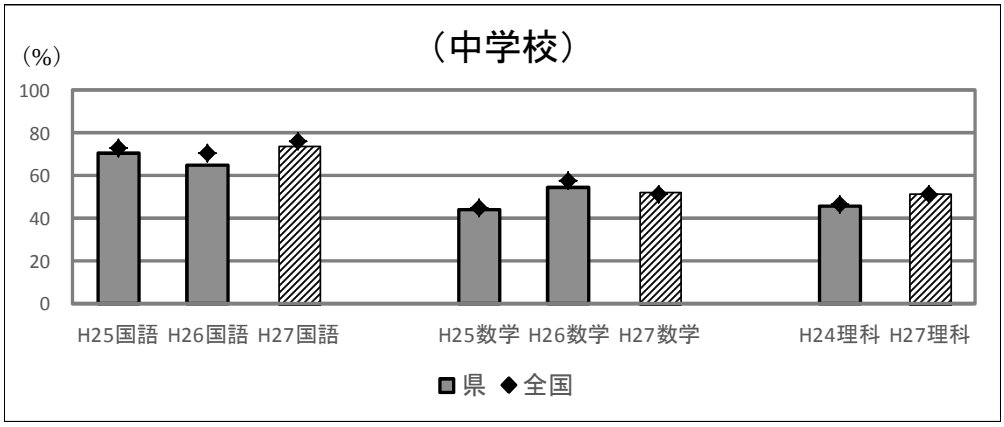
(小学校)　単位%

児童質問紙	県	全国	差
H25国語	69.7	69.8	-0.1
H26国語	74.8	76.1	-1.3
H27国語	**79.5**	**77.7**	**1.8**
H25算数	74.1	74.4	-0.3
H26算数	78.6	79.7	-1.1
H27算数	**74.7**	**73.3**	**1.4**
H24理科	69.5	72.5	-3.0
H27理科	**77.2**	**76.1**	**1.1**

(中学校)　単位%

生徒質問紙	県	全国	差
H25国語	70.7	73.0	-2.3
H26国語	65.1	70.4	-5.3
H27国語	**74.2**	**76.4**	**-2.2**
H25数学	44.1	44.9	-0.8
H26数学	54.8	57.7	-2.9
H27数学	**52.3**	**51.3**	**1.0**
H24理科	46.1	46.6	-0.5
H27理科	**51.9**	**51.8**	**0.1**





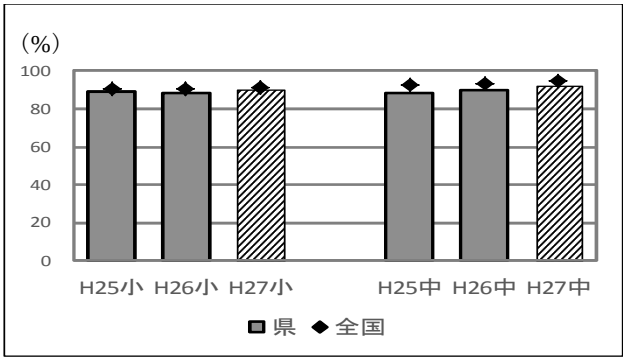
(9)【規範意識】「学校のきまりを守っていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校では全国平均程度であるが、中学校は全国平均を下回った。

(小学校)　単位%

児童質問紙	県	全国	差
H25	89.1	90.6	-1.5
H26	88.5	90.5	-2.0
H27	**90.4**	**91.1**	**-0.7**

(中学校)　単位%

生徒質問紙	県	全国	差
H25	88.6	92.5	-3.9
H26	89.5	93.0	-3.5
H27	**92.0**	**94.4**	**-2.4**



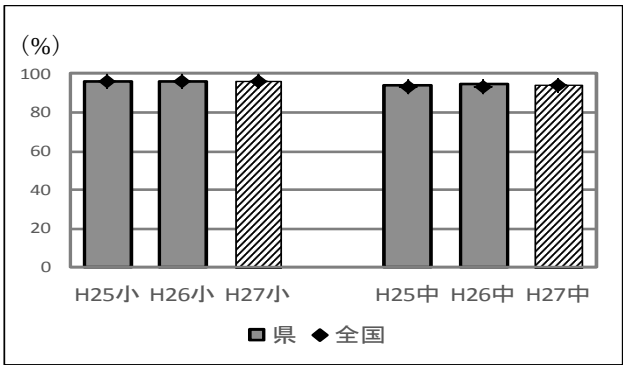
(10)【規範意識】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を上回った。

(小学校)　単位%

児童質問紙	県	全国	差
H25	96.3	95.9	0.4
H26	96.3	96.4	-0.1
H27	**96.6**	**96.2**	**0.4**

(中学校)　単位%

生徒質問紙	県	全国	差
H25	94.2	93.5	0.7
H26	94.7	93.4	1.3
H27	**94.3**	**93.7**	**0.6**



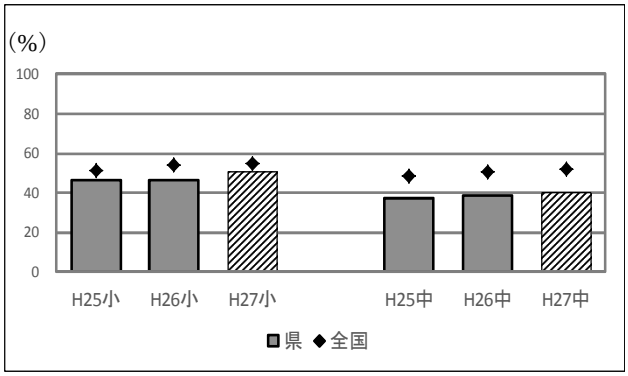
(11)【家庭学習】「家で、学校の授業の復習をしていますか」について「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を下回り、中学校では全国との差が大きい。

(小学校)　単位%

児童質問紙	県	全国	差
H25	46.1	51.4	-5.3
H26	46.3	54.0	-7.7
H27	**50.9**	**54.5**	**-3.6**

(中学校)　単位%

生徒質問紙	県	全国	差
H25	37.3	48.6	-11.3
H26	38.6	50.4	-11.8
H27	**40.6**	**52.0**	**-11.4**



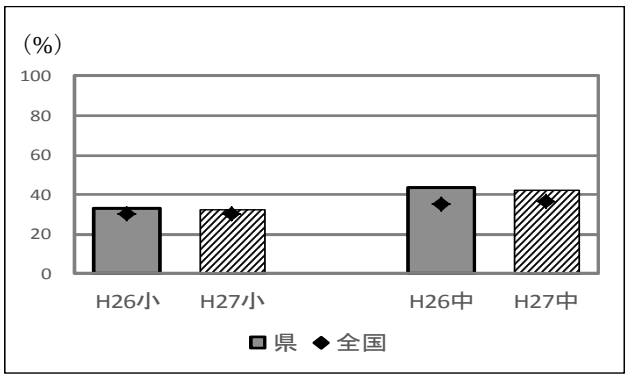
(12)【メディアとの関係】「普段（月曜日～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」について「２時間以上」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国平均を上回り、中学校では全国との差がある。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H26	32.9	30.3	2.6
H27	**32.7**	**30.2**	**2.5**

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H26	43.5	35.4	8.1
H27	**42.3**	**36.3**	**6.0**



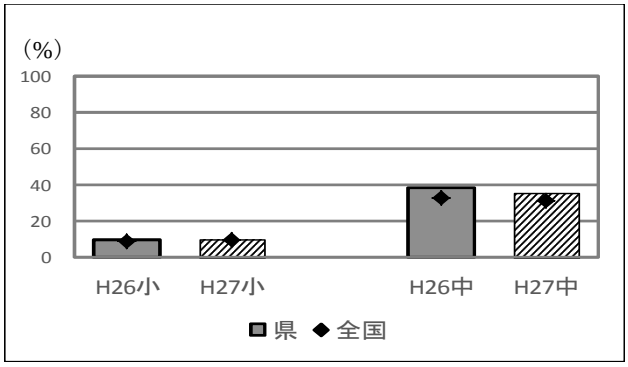
(13)【メディアとの関係】「普段（月曜日～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」について「２時間以上」と回答した割合は、小学校では全国平均程度であるが、中学校では全国との差がある。

（小学校）　単位％

児童質問紙	県	全国	差
H26	9.8	8.7	1.1
H27	**10.6**	**9.8**	**0.8**

（中学校）　単位％

生徒質問紙	県	全国	差
H26	38.8	32.7	6.1
H27	**35.7**	**31.3**	**4.4**



4　教科の概要

◇…相当数の児童・生徒ができている点　◆…課題のある点
［　　］内は、問題番号と正答率

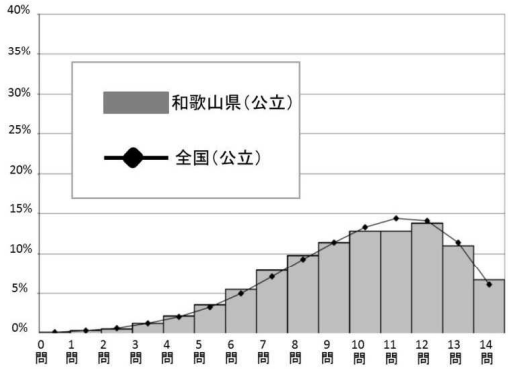
【小学校国語】

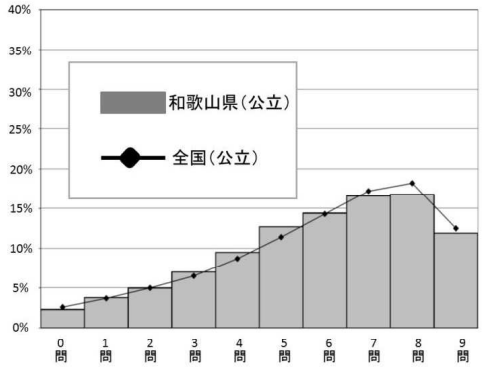
○国語Ａ（知識）の平均正答率は69.5%であった。
◇学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについては、相当数の児童ができている。［A1一１ 97.6%, A1一2 96.6%, A1一3 91.7%］
◆新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。［A5二 21.0%］

○国語Ｂ（活用）の平均正答率は64.5%であった。
◇目的に応じ、中心となる語や文を捉えることについては、相当数の児童ができている。［B2一イ 86.1%］
◆目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。［B1三 35.1%］
◆文章と図とを関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。［B2三 39.1%］

［国語Ａ］	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	8,072	9.7/14	69.5
全国(公立)	1,061,264	9.8/14	70.0

［国語Ｂ］	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	8,071	5.8/9	64.5
全国(公立)	1,061,093	5.9/9	65.4





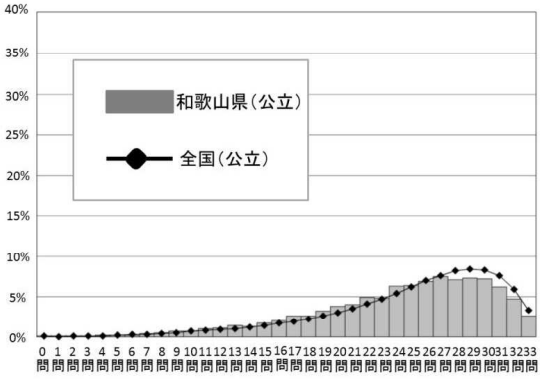
【中学校国語】

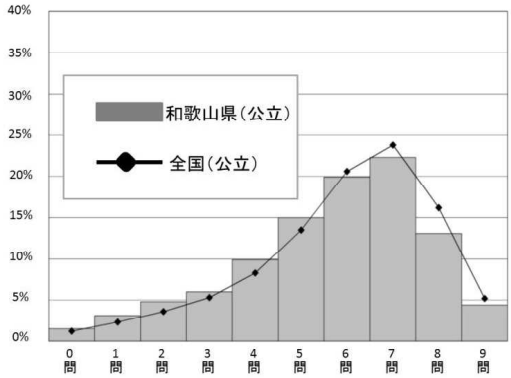
○国語Ａ（知識）の平均正答率は73.4%であった。
◇相手の反応を踏まえて話すことについては、相当数の生徒ができている。［A1一 91.6%］
◇文章から適切な情報を得て、考えをまとめることについては、相当数の生徒ができている。［A5一 92.5%］
◆単語の類別について理解することに課題がある。［A9四② 29.8%］

○国語Ｂ（活用）の平均正答率は62.9%であった。
◇表現の工夫について自分の考えをもつことについては、相当数の生徒ができている。［B3一 87.1%］
◆複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。［B2三 19.4%］
◆文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。［B3三 27.3%］

［国語Ａ］	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	7,957	24.2/33	73.4
全国(公立)	1,016,451	25.0/33	75.8

［国語Ｂ］	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	7,965	5.7/9	62.9
全国(公立)	1,016,575	5.9/9	65.8





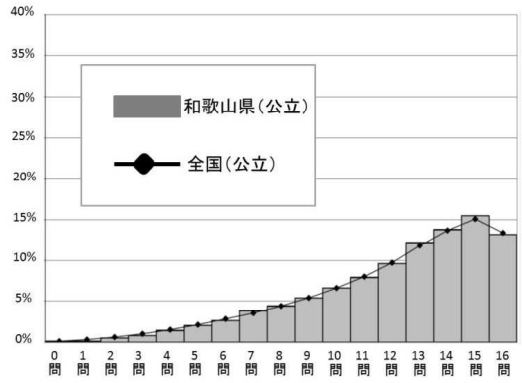
【小学校算数】

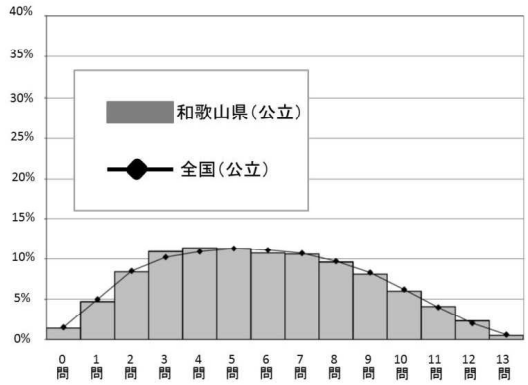
○算数Ａ（知識）の平均正答率は75.6%であった。
◇繰り上がりのある２位数の加法の計算をすることについては、相当数の児童ができている。［A 2 (1) 98.5%］
◇式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することについては、相当数の児童ができている。［A 8 88.2%］
◆示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を理解することに課題がある。［A 5 (1) 46.0%］

○算数Ｂ（活用）の平均正答率は44.9%であった。
◆示された情報から基準量を求める場面を捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。［B 2 (2) 15.0%］
◆長方形の面積を２等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することに課題がある。［B 5 (1) 12.2%］

［算数Ａ］	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,072	12.1/16	75.6
全国(公立)	1,061,301	12.0/16	75.2

［算数Ｂ］	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,071	5.8/13	44.9
全国(公立)	1,061,063	5.9/13	45.0





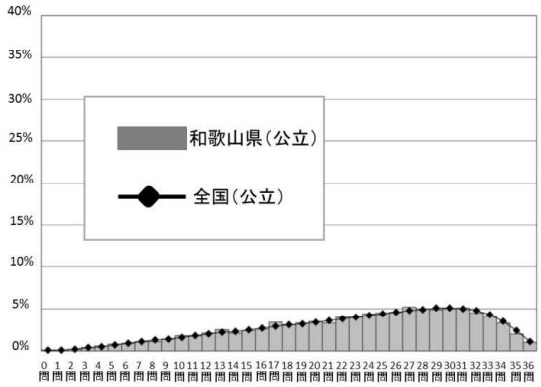
【中学校数学】

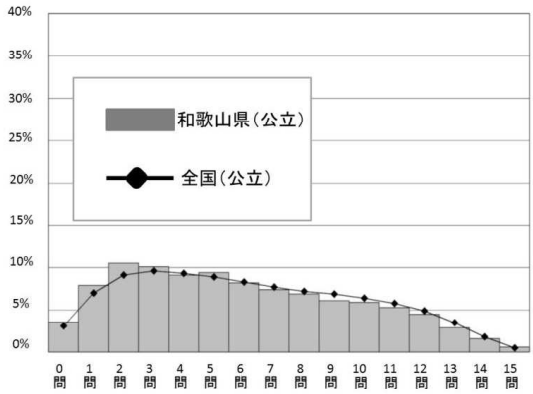
○数学Ａ（知識）の平均正答率は64.0%であった。
◇時間と道のりの関係を表すグラフから、与えられた時間における道のりを読み取ることについては、相当数の生徒ができている。［A 12 (2) 83.6%］
◆数量の関係を文字式に表すことに課題がある。［A 2 (2) 21.7%］
◆証明の必要性とその意味を理解することに課題がある。［A 8 24.0%］

○数学Ｂ（活用）の平均正答率は39.6%であった。
◆事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。［B 1 (3) 10.1%］
◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。［B 5 (2) 19.9%］

［数学Ａ］	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,978	23.0/36	64.0
全国(公立)	1,016,737	23.2/36	64.4

［数学Ｂ］	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	7,978	5.9/15	39.6
全国(公立)	1,016,548	6.2/15	41.6





【小学校理科】

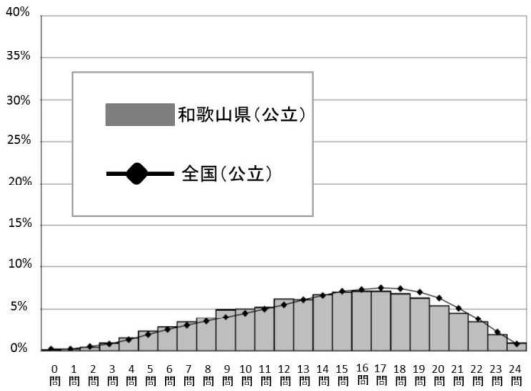
○理科の平均正答率は59.0%であった。

◇打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察し、分析することについては、相当数の児童ができている。[4(6) 83.6%]

◆顕微鏡の適切な操作方法の定着に課題がある。[2(4) 36.3%]

◆析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述することに課題がある。[3(6) 27.4%]

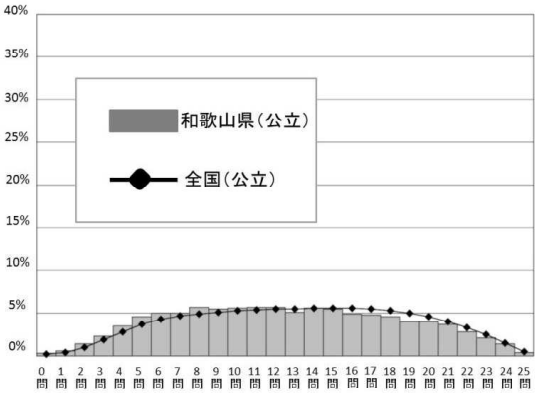
［理科］	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	8,073	14.2/24	59.0
全国(公立)	1,060,792	14.6/24	60.8



【中学校理科】

○理科の平均正答率は50.1%であった。

◆他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することに課題がある。[2(3) 13.1%]

◆音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することに課題がある。[6(2) 28.2%]

［理科］	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
和歌山県(公立)	7,986	12.5/25	50.1
全国(公立)	1,016,572	13.3/25	53.0